

〔日本歲時記四見〕朔日 國俗今日より五月四日まで裕を著ゆへ、今日を衣がへといふ、古歌におほくよめり、

〔年中行事故實考四見〕朔日 更衣と云俗に綿ぬきの祝といふ、人家此日より裕を著す、中華には四日にはじめて紗衣を服すと見えたり、

〔東都歲事記二見〕朔日、更衣、今日より五月四日迄、貴賤裕衣を著す、今日より

五月更衣

〔年中恒例記〕五月五日 從今日帷子也、女中衆は裕也、

〔殿居囊 武家年中行事〕五月五日 五ツ時、染帷子、長端午之御祝義有之、如上已、

〔德〕年中行事 五月五日

一端午之御禮有之 染帷子、長袴、

〔日次紀事五月〕五日 端五〔中略〕自今日良賤各著帷子、倭俗布衣謂之帷子、或依年暑氣未到、則良賤亦

帷地白帷子、

〔東都歲事記五月〕五日 貴賤今日より麻の袷衣を著して、八月卅日に至る、

九月更衣

〔光臺一覽〕九月朔日は衣替、四月に相同じ、併是迄夏中裕御服也、夫を今日より綿入に被召替御事也、夏中召たる御裕をも、お局方配分して拜領有之也、

〔年中恒例記〕九月朔日 今日より九日迄あはせ也 九日 從今日小袖也

〔殿居囊 武家年中行事〕九月朔日 五ツ時ふくさ裕、麻月次御禮有之、○中略 九日五ツ時、花色小袖

長、重陽御祝儀、萬石以下花色ニ不限、

〔德〕年中行事 九月朔日

一月次御禮有之、服紗裕半袴、

九日